

**登米市地球温暖化対策率先実行計画
平成19年度二酸化炭素排出状況等について(お知らせ)**

市では地球温暖化防止のため、平成19年7月に「登米市地球温暖化対策率先実行計画」を策定し、市の施設から二酸化炭素の排出抑制に取り組んでいます。
この度、次のとおり平成19年度分の二酸化炭素排出状況を取りまとめましたのでお知らせします。

1 調査の範囲について

市所有の全施設を対象としています。(指定管理をしている施設は対象外)

2 調査方法について

各部署に使用量6項目(電気・プロパン・灯油・重油・ガソリン・軽油)について調査し、回答を基に集計【表1】しました。

【表1】集計結果

項目	単位	庁舎部門※1	市民利用系※2	学校等※3	合計
電気	(kwh)	2,875,075.60	24,395,153.80	4,130,964.00	31,401,193.40
プロパンガス	(m3)	2,254.30	21,645.90	38,176.50	62,076.70
灯油	(L)	74,384.80	83,807.50	284,853.40	443,045.70
重油	(L)	139,490.00	1,467,690.00	300,328.00	1,907,508.00
ガソリン	(L)	155,550.05	9,008.82	19,354.68	183,913.55
軽油	(L)	130,654.94	20,298.47	14,827.05	165,780.46

※1 「庁舎部門」の該当する施設は、各本庁・総合支所庁舎、消防本部、水道事業所等

※2 「市民利用系」の該当する施設は主に公民館、体育館及び保健センター等広く一般市民が利用する施設

※3 「学校等」の該当する施設は、小・中学校、保育所、幼稚園、学校給食センター及び児童館等

3 二酸化炭素の算定について

上記で集計した各使用量を基に、「地球温暖化対策の推進に関する法律施行令」に基づき、定められている排出係数を用いて二酸化炭素排出量を算出しました。

二酸化炭素排出量を算定した結果、電気の排出量が61.26%と最も多く、続いて重油の排出量が26.68%を占めています。

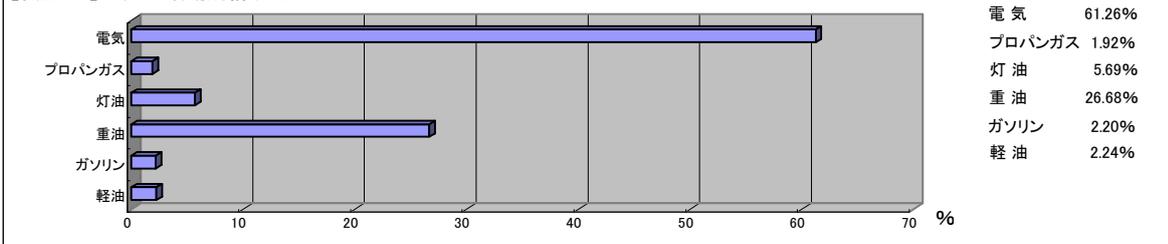
【表2】活動別構成比

活動の種類	単位	使用量	二酸化炭素排出係数	二酸化炭素排出量	構成比(%)
電気	(kwh)	31,401,193.40	0.378 kg-co2/kwh	11,869,651.11 kg-co2	61.26
プロパンガス	(m3)	62,076.70	6.00 kg-co2/m3	372,460.20 kg-co2	1.92
灯油	(L)	443,045.70	2.49 kg-co2/L	1,103,183.79 kg-co2	5.69
重油	(L)	1,907,508.00	2.71 kg-co2/L	5,169,346.68 kg-co2	26.68
ガソリン	(L)	183,913.55	2.32 kg-co2/L	426,679.44 kg-co2	2.20
軽油	(L)	165,780.46	2.62 kg-co2/L	434,344.81 kg-co2	2.24
合計				19,375,666.02 kg-co2	100.00

使用量 × 二酸化炭素排出係数 = 二酸化炭素排出量

平成19年度の二酸化炭素総排出量	19,375,666.02 kg-Co2
-------------------------	-----------------------------

【表2-1】グラフ 活動別構成比



4 二酸化炭素排出量の削減目標について

平成19年度の二酸化炭素排出量については、平成21年度二酸化炭素排出量目標値に対して約2.5%の減となり、平成19年度目標としていた二酸化炭素排出量を大きく下回り、平成21年度二酸化炭素排出目標値を達成することが出来ました。これは、二酸化炭素排出量が多く全体の排出量の約88%を占める電気及び重油の排出量が着実に減少したことが要因であります。特に減少率が高かったのは公民館や体育館等市民の皆さんが利用する施設であり、利用しない時間帯は電気を切る等節電に努めたことと、暖房を控えたことにより灯油の節約となったためであります。また、全体的に庁舎部門(各本庁・総合支所庁舎)の各使用量が増加傾向にあります。対応として、平成20年10月から一部の庁舎ですが、環境マネジメントシステムを導入し、各使用量削減のため取り組んでおり、今後も環境マネジメントシステムの適用範囲を計画的に拡大し、数年後には市全組織での取り組みを目指しています。今後も二酸化炭素排出量の抑制のため、市でも環境マネジメントシステムを導入する等推進していきますので市民皆さんのご協力をよろしくお願いいたします。

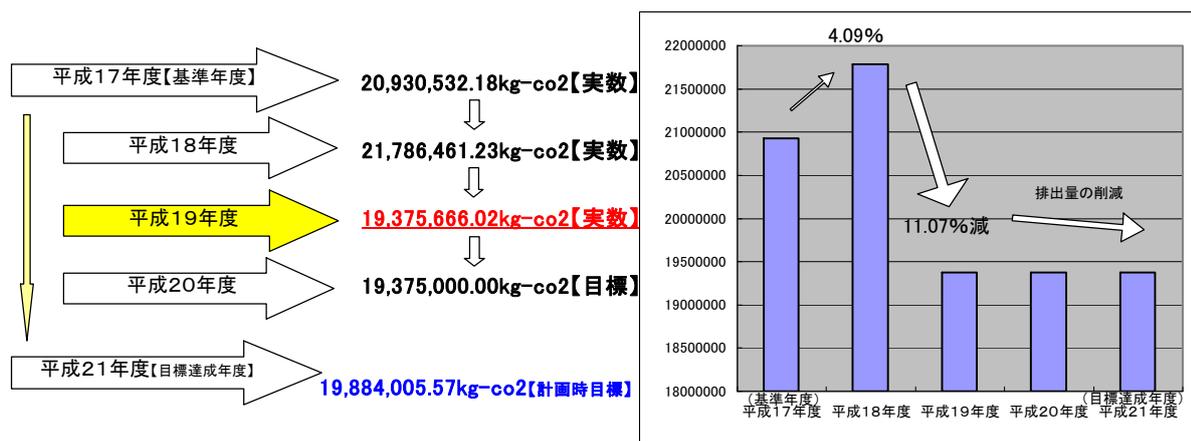
【表3】二酸化炭素排出量集計表

項目	H21二酸化炭素排出量目標値(kg-co2)	H19二酸化炭素排出量(kg-co2)	増減(kg-co2)	H21目標値に対する比率	
電気	庁舎部門	1,064,676.81	1,086,778.58	22,101.77	102.08 %
	市民利用系	9,418,244.58	9,221,368.14	-196,876.44	97.91 %
	学校等	1,651,985.74	1,561,504.39	-90,481.35	94.52 %
	合計	12,134,907.13	11,869,651.11	-265,256.02	97.81 %
プロパンガス	庁舎部門	9,925.98	13,525.80	3,599.82	136.27 %
	市民利用系	141,343.47	129,875.40	-11,468.07	91.89 %
	学校等	218,556.41	229,059.00	10,502.59	104.81 %
	合計	369,825.86	372,460.20	2,634.34	100.71 %
灯油	庁舎部門	198,559.83	185,218.15	-13,341.68	93.28 %
	市民利用系	274,804.32	208,680.68	-66,123.64	75.94 %
	学校等	903,228.09	709,284.97	-193,943.12	78.53 %
	合計	1,376,592.24	1,103,183.79	-273,408.45	80.14 %

重油	庁舎部門	367,736.43	378,017.90	10,281.47	102.80	%
	市民利用系	4,107,550.39	3,977,439.90	-130,110.49	96.83	%
	学校等	873,914.03	813,888.88	-60,025.15	93.13	%
	合計	5,349,200.85	5,169,346.68	-179,854.17	96.64	%
ガソリン	庁舎部門	210,325.43	360,876.12	150,550.69	171.58	%
	市民利用系	103,064.51	20,900.46	-82,164.05	20.28	%
	学校等	19,957.31	44,902.86	24,945.55	224.99	%
	合計	333,347.25	426,679.44	93,332.19	128.00	%
軽油	庁舎部門	239,416.98	342,315.94	102,898.96	142.98	%
	市民利用系	46,839.50	53,181.99	6,342.49	113.54	%
	学校等	33,875.76	38,846.87	4,971.11	114.67	%
	合計	320,132.24	434,344.81	114,212.57	135.68	%
合計		19,884,005.57	19,375,666.02	-508,339.55	97.44	%

5 削減目標に向けての具体的数値について

平成19年度二酸化炭素排出量は、当初見込んでいた平成19年度目標値を1,757,201kg-co2下回り、目標達成年度(H21年度)の19,884,005kg-co2をも508,339kg-co2下回りました。これは学校の統合及び廃校等、二酸化炭素排出量のマイナスとなる要因もありましたが、全体での夏季のクールビズや冬期の暖房機器を使用を節減したウォームビズの推進等、省エネルギーの推進に努めた結果だと思われます。



6 今後の取り組みについて

全体での二酸化炭素の排出量は、クールビズやウォームビズ等省エネルギーの推進により減少したが、個別の項目ごとに見るとガソリン及び軽油の使用量が年々増加傾向にあります。今後は環境マネジメントシステムを積極的に推進し、クールビズやウォームビズ等省エネルギーの推進を継続しながら、更に環境マネジメントシステムを積極的に推進し、特に公用車のエコドライブ推進に努めていきます。また、平成19年度の二酸化炭素排出量は、平成21年度の二酸化炭素排出量目標値を達成しましたが、次年度以降も更なる二酸化炭素排出量の削減に向けた活動を推進していきます。